

2023年6月27日

報道関係各位
プレスリリース

株式会社ドリーム・アーツ

【大企業の従業員 730 名に聞いた「DX 人材の流動性」に関する調査】

**8 割以上が DX 人材を社外から採用する一方で、約 4 割がミスマッチを実感
採用した DX 人材の 6 割が早期転職の意向**

大企業向けクラウドサービスのドリーム・アーツ株式会社（東京本社：東京都渋谷区、広島本社：広島県広島市、代表取締役社長：山本 孝昭、以下 ドリーム・アーツ）は、従業員数 1,000 名以上の企業に所属する従業員 730 名を対象に、「DX 人材の流動性」に関する調査を実施しました。

その結果、8 割以上（81.9%）がここ 3 年以内に人材を社外から採用している一方で、約 4 割がミスマッチを実感していることがわかりました。また、採用された人材の 6 割（60.6%）が早期転職の意向を持っていることも明らかになりました。

調査結果のサマリー

01 3年以内にDX人材を社外から採用した人は8割以上（81.9%）**02** 約4割（41.6%）がDX人材の社外からの採用についてミスマッチを実感**03** 3年以内に採用したDX人材の6割（60.6%）が早期転職の意向

■調査背景

2023年3月にIPA（独立法人 情報処理推進機構）が発表した「DX 白書 2023^(※1)」によると、日本企業の DX を推進する人材の「量」が「大幅に不足している」と回答した人の割合は、2021 年度は 30.6%であるのに対し、2022 年度は 49.6%に増加しています。また、人材の「質」に関しても、「大幅に不足している」の回答の割合は、2021 年度は 30.5%である一方、2022 年度は 57.1%となり、深刻な人材不足を認識している企業が半数以上に増加しています。

こうしたなか、ドリーム・アーツでは、DX 人材採用の現状と課題を把握するため、従業員数 1,000 名以上の企業（IT 企業を除く）に所属する従業員 730 名を対象にインターネットによるア

アンケート調査を実施しました。

※1 独立法人 情報処理推進機構「DX 白書 2023」<https://www.ipa.go.jp/publish/wp-dx/dx-2023.html>

■3年以内にDX人材を社外から採用した人は8割以上（81.9%）

現在DX人材を確保できているか聞いたところ、「十分確保できている」は16.4%に留まり、「一部確保できている」（46.3%）、「あまり確保できていない」（30.1%）、「全く確保できていない」（7.1%）を合わせると83.5%となり（グラフ1）、DX推進部署の人材をここ3年以内に社外から採用したと回答した人は8割（81.9%）にのびりました（グラフ2）。

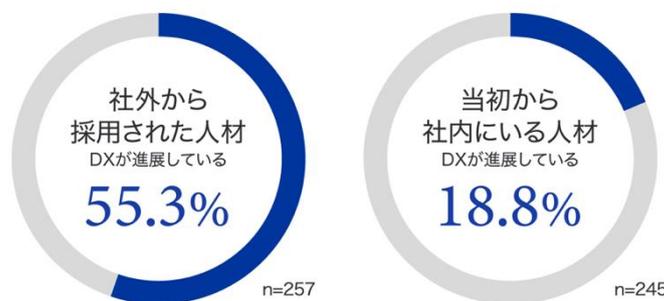
【グラフ1：DX人材を確保できているか】

【グラフ2：社外からの採用】



自社のDXの進捗状況に最も影響を与えている人物については、「社外から採用された人材」と回答した人が最も多く約4割（35.2%）となりました。さらに、DXの進捗度合いと影響力を持っている人物の相関性について調べたところ、DXが進展している人のうち5割強（55.3%）が、社外から採用された人材の影響力が最も高いと回答しており、DXが進展している企業ほどその傾向が大きいことが明らかになりました（グラフ3）。

【グラフ3：DX進展に関する影響度】

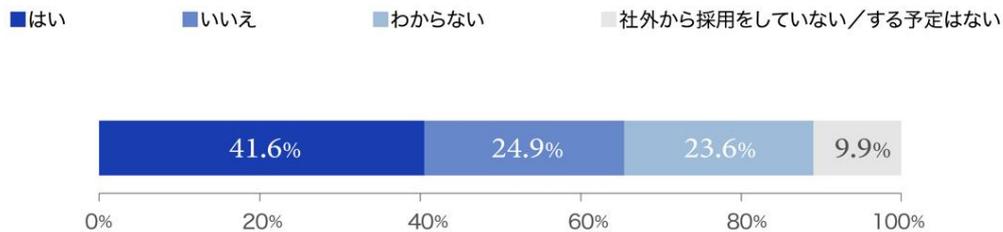


■約 4 割（41.6%）が、DX 人材の社外からの採用についてミスマッチを実感

4 割以上（41.6%）が、DX 人材の社外からの採用において、企業と転職者の中で認識違いなどのミスマッチが起きていると感じていることがわかりました（グラフ 4）。

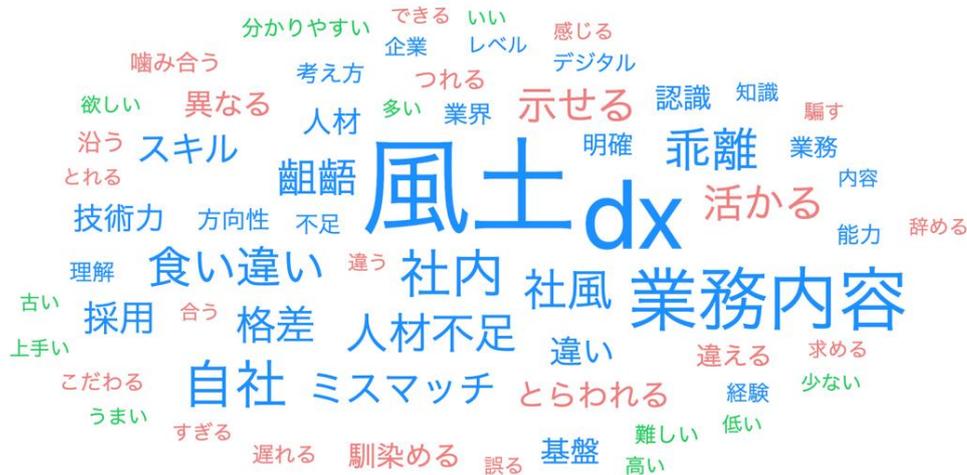
【グラフ 4：企業と転職者間でミスマッチが起きていると感じるか】

n = 730



ミスマッチを実感している理由に関して自由記述をテキストマイニングで可視化した結果、最も多く出た単語が「風土」でした（図 1）。具体的には「社内風土の理解が大変だから」「自社固有の風土、文化があるから」など、転職前後の企業風土の違いからくる認識の差がミスマッチを生んでいると考えている人が多いことがわかりました。

【図 1：DX 人材採用のミスマッチの詳細理由（自由記述のテキストマイニング）】

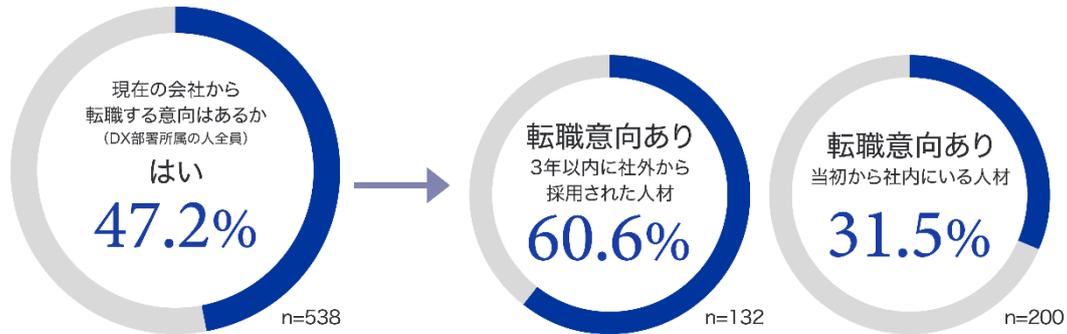


■3 年以内に採用した DX 人材の 6 割（60.6%）が早期転職の意向

DX 推進部署に所属している人に転職の意向を尋ねたところ、約半数（47.2%）が転職したいと回答しました。さらに、ここ 3 年以内の転職者においては約 6 割（60.6%）が転職意向を持っており、一度採用した人材が短期間のうちに再度転職してしまう可能性があることがわかりま

した（グラフ5）。

【グラフ5：転職意向（DX 部署所属の人全員）とセグメント別転職意向】



■社外採用人材を中心に DX が進展する理由 1 位は「変革を受け入れる企業文化や危機感」

社外から採用された人材を中心に DX が進展している理由については、1 位は「変革を受け入れる企業文化や危機感がある」、2 位は「社内の重要プロジェクトとして経営陣がコミットし全面的に支援している」、3 位は「DX 推進の方針や DX 人材の要件が明確」という結果となりました（グラフ 6）。新たな風を吹き込む外部からの DX 人材を活かすポイントは「企業文化」がカギになることが示唆されました。

【グラフ 6：DX が進展している理由（社外から採用された人）】



■調査概要と資料ダウンロードについて

今回発表した調査レポートの詳細は、以下の URL から無料でダウンロードいただけます。

- 調査レポート「大企業の730名に聞いた“DX人材の流動性”に関する調査」

<https://www.dreamarts.co.jp/form/dair-wp11/>

[調査概要]

- 調査対象：従業員数1,000名以上の大企業に勤めている従業員および経営層でDXやDX人材の採用に携わる人
- 調査方法：インターネット調査
- 有効回答数：730名
- 調査実施日：2023年3月9日（木）～2023年3月13日（金）

ドリーム・アーツは、今後も“協創”を理念に掲げ、「現場力強化」「企業競争力向上」に役立つトータルソリューションを提供してまいります。

株式会社ドリーム・アーツについて <https://www.dreamarts.co.jp/>

1996年12月に設立されたドリーム・アーツは「協創する喜びにあふれる人と組織と社会の発展に貢献する」をコーポレート・ミッションに、「情報共有」と「対話」を重視した独創的かつ高品質なソリューションとサービスを提供します。「協創力を究めよ」のスローガンのもと、ICTだけでも人間だけでもできないビジネス上の課題の解決をICTと「協創」でお手伝いしています。大企業向け業務デジタル化クラウド「SmartDB®(スマートデービー)」、多店舗オペレーション改革を支援する「Shopらん®(ショッピングラン)」、大企業の働き方を変えるビジネスコックピット「InsuiteX®(インスイートエックス)」などのクラウドサービスを開発・提供しています。

<本件に関するお問い合わせ先>

株式会社ドリーム・アーツ

〒150-6029 東京都渋谷区恵比寿4-20-3 恵比寿ガーデンプレイスタワー29F

広報担当 佐藤

TEL：03-5475-2502 / 080-7023-7602 E-mail：pr@dreamarts.co.jp

記載されている会社名および商品・サービス名は各社の登録商標または商標です。

©2023 DreamArts Corporation.